

# CSV 通信 2号

令和6年 10月発行  
東京都立中野特別支援学校  
校長 和田 慎也  
文責:CSV 堀切 美和

★全地区拠点校連絡会が開催されました！ 島しょの高等学校訪問も始まりました。

【全地区拠点校連絡会 各地区より】

## 東部地区

全地区の発表では、白鷺特別支援学校に東部地区全体の様子も含めて、高等学校との連携の事例を報告していただきました。コーディネーターの先生方の小学校や高等学校での経験が生かされた内容で、他の地区拠点校の先生方にも興味をもって聞いていただけました。また、後半の地区別の分科会では「東部地区第2回地区拠点校情報交換会」として、ミニ研修会では墨田特別支援学校と水元小合学園から連携事例の報告をいただきました。また各校からも高等学校の様子や支援事例、出てきた課題等の報告をいただき、活発な意見交換をすることで、明日以降へのエネルギーの充填ができたように思います。

## 中部地区

全体会では、練馬特別支援学校に「3年間の取り組み」について報告していただきました。ケース相談を受ける際に活用している高等学校の立場に立った相談表の紹介や、研修会の際に相談内容から具体的な手立てを紹介していることなど、高等学校と近づくヒントがたくさんある実践のご紹介をいただきました。また、校内体制や校内での周知の方法など悩みながらも進めている様子もお話しされ、これは後半の分科会でも話題となりました。分科会では各校の良い取り組みの紹介と課題点について情報共有を行いました。課題点は共通なことも多く、校内への周知、COの引継ぎ(組織づくり)など話は尽きませんでした。

## 西部地区

全体会では東久留米特別支援学校より連携の報告「ASD傾向の問題行動のある生徒への特別指導」「LD生徒の定期テストでの合理的配慮」「手帳就労を視野に入れた生徒の進路指導」等、また3年目の連携の中で担当者として「心がけてきたこと」として一番その生徒に関わっている先生をリスペクトする、生徒が何を感じているのか、特性を考えながら推測する等をお話しいただきました。様々な違いのある中、理解し合うための工夫が伝わってきました。

後半の西部地区では13校全員が初集合「通級開始に向けた支援」「手帳就労に関わる進路連携はどこまで行っか」「情報交換シートの活用」各校の好事例、困難事例ともに、日ごろの連携の中で感じていることを含め、情報交換ができました。

大島（「大島高等学校 普通科/併合科/夜間定時制」「大島海洋国際高等学校 海洋国際科」）

今回は6/18～21の行程で二つの高等学校を連続して訪問することになり、その分時間を多くとれたことで、先生方とのお話がたっぷりとできた訪問でした。全寮制の海洋国際科、普通科・併合科・定時制、と島内には多様な学科がある一方で、障害児教育や特別支援教育の推進等、島しよでの難しさも含めて先生方と直接お話しする機会になりました。また、島内の小中学校と高等学校との連携や特別支援教育の推進という視点で、小中学校の先生方ともお話しすることができました。

【都立大島高等学校】

生徒情報共有、生徒観察、個別ケース相談、夜間定時制情報共有、校内研修会「LDについて」

\*学校介護職員の方ともお話ができ、チーム学校としての在り方を考えました。

【都立大島海洋国際高等学校】

生徒情報共有、校内委員会の運営について

\*学校の養護教諭の先生をはじめ、今年度から配置された寄宿舎の養護教諭の先生ともお話ができ、特徴ある海洋国際科や寄宿舎での生徒の様子をお聞きすることができました。

三宅島（「三宅高等学校 普通科、併合科（農業科・家政科）」）

三宅高等学校には学校敷地に入るとすぐに「島の宝を育てます」横断幕があります。島内唯一の高等学校として生徒の指導に当たられている先生方の心意気が伝わってきました。

訪問では、校内の支援体制について、生徒の行動観察・対応についてのケース会、進学に向けて個別対応（双方向の対話）支援も見学させていただきました。先生方がチームとなってどのように対応していけばよいのか、支援資源に限りのある中でも、具体的な動きについて協議が進みました。

また、三宅小学校、三宅中学校も訪問し義務教育段階での「特別支援教育」の理解が保護者の間ですすみ、特別支援教室、特別支援学級ともに活用がひろがってきています。

八丈島（青鳥特別支援学校・青鳥特別支援学校八丈分教室との連携）

八丈高等学校は青鳥特別支援学校が地区拠点校の学校です。今回は高校訪問の同行で八丈高等学校、島内の小中学校へ訪問しました。事前に相談内容を聞き取りまとめていただき、COの先生方の連携の良さを感じました。

【八丈高等学校全日制】都立版エリアネットワークについて、ケース観察・相談

【八丈高等学校定時制】情報共有会、ケース観察、相談

【オンラインでの振り返り・情報共有】青鳥特別支援学校、中部担当 CSV をオンラインで結び、八丈分教室 CO、八丈高等学校全日制 CO、CSV と、校内体制の整備や都立版エリアネットワークの今後の活用について話し合いました。